

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会  
平成 27 年度 第 3 回常務理事会 議事録

開催日時：平成 27 年 10 月 16 日（金） 18:30～

出席者：兼子、諏訪、浅野、藤井、近藤、臼井、鈴木敦

欠席者：柴、森本

議長：兼子

議事録：藤井

【連絡事項】

1. 日臨技より

都道府県新会員管理システムの運用についての依頼について藤井庶務部長より報告があった。

都道府県新会員管理システムの運用については、都道府県技師会専用サイトのトップページ「日臨技からのお知らせ」に順次掲載しますので確認をお願いしますとの報告があった。近藤部長より、あとで学術の所で説明するとの発言があった。

先駆的チーム医療実践講習会「国家プロジェクトとして認知症領域への対応」の都道府県技師会先行募集についての依頼があった。

今後益々重要視される認知症領域の臨床検査の普及、実施体制の整備が喫緊の課題であり、今回の講習会を機に取り組みを強化する予定です。そこで、各地での普及・啓発が進みますよう都道府県技師会理事、認知症疾患医療センター勤務会員等よりご推薦を頂ければとの依頼があった。

推薦枠は 1 名、締め切りが 10 月 16 日（金曜日）、費用は参加者負担との説明があった。会長より、どなたか推薦できる人はありますかとの問いかけがあった。

臼井理事より、認知症でしたら、普通はデイケアとの意見があった。また、アルツハイマーで入院している所はあまり無く、精神科か神経内科との発言があった。

アルツハイマーは、急性期なら入院はあるが、慢性期になると、ほとんど無いとの発言があった。兼子会長より、病院というよりも施設になるとの発言があった。

浅野副会長より、認知症の患者さんを受け入れている病院はないのかとの問いかけがあった。会長より、うちのような病院だろうが、何か行っているかといえば、何も行っていなく、やり様子が無いとの発言があった。また、あまり興味が無いとの意見があった。

近藤部長より、岐阜県から必ず 1 名出さないといけないのかとの質問があった。兼子会長より、そうではないとの回答があった。

諏訪副会長より、認定認知症領域検査技師というのがあるのかとの質問があった。浅野副会長より認知症の認定はできたとの回答があった。

兼子会長より、理事に回し、行きたい人があれば、お願いし、無ければ、該当者なしで常務理事の承認を得た。

自然災害による被災会員に対するお見舞い金申請手続き等についての通知があった。

自然災害で被災され、この規程の条件に該当する会員が居られましたら、別添の「届出用紙」に必要事項を記入のうえ、貴支部の支部長は提出してくださいとの報告があった。

臼井部長より、地区ごとに把握していただいて、被災会員がいたら、組織調査部長の臼井部長に申請をして下さいとの説明があった。また、地区総会で、話してもらうようにと発言があった。浅野副会長より、大垣で水に浸かっている会員がいたが、もらっていないとの発言があった。

金沢大学附属病院検査部の長原先生より、メールで「在宅医療」に臨床検査技師が出向いている施設を、ご存じでしたら、教えて下さいとの問いかけがあった。兼子会長より、今の所、出ている施設は無く、あれば教えて下さいとの回答があった。

藤井理事より平成 27 年秋季拡大研修会についての報告があった。

今月の 20 日発送の定期便で各施設に案内が行きますが、平成 27 年 11 月 15 日（日）に岐阜医療科学大学で行います。

テーマとしては、糖尿病で、内容は、岐阜大学大学院医学系研究科 臨床教授 宮崎龍彦先生に「糖尿病のかたち」について講演をお願いしました。また、大垣市民病院 糖尿病・腎臓内科 柴田大河先生に「糖尿病治療薬の進歩」について講演をお願いした。

市民公開講座では、鈴鹿医療科学大学 副学長 長村洋一先生に「健康は食生活でこんなに変えられる」の講演をお願いしました。

ランチョンセミナーでは、サクラファインテックジャパン株式会社の藤本幸司先生に「標本作成をサポートする全自動薄切装置はどうあるべきか」と、積水メディカル株式会社の小田善輔先生に「糖尿病と検査について ～新しいマーカー L-FABP～」の講演をお願いした。

市民公開講座の宣伝ポスターを作りました。

会長より、秋季拡大研修会で何かやる事はありますかとの質問があった。

秋季拡大研修会抄録集の挨拶文と、当日の会長より挨拶をお願いした。

会長より会長以外に何か行う事はありますかとの問い合わせがありました。

近藤部長より特に無いが、あるとしたら実行委員長がありますとの意見があり、過去を調べ、無ければ、無くてよいとの意見があった。

兼子会長より、挨拶の文章の締め切りについて質問があった。藤井部長より、高崎理事に確認し連絡しますとの回答があった。

平成 27 年度春季拡大研修会の決算書の紹介があった。収入 251,784 円、支出 575,478

円、合計マイナス 323,694 円でした。会長より講演料もプリンも高いが、多くの市民が来てくれてよかったとの意見があった。

## 2. 学術部

近藤部長より報告があった。

第 2 回部門長会議の日程が決まりました。平成 27 年 11 月 27 日（金）に開催します。

検査と健康展の 2 日前なので何かあれば言って頂ければとの発言があった。臼井部長より、今は、何が困っているのかまだわからないとの発言があった。

生涯教育推進研修会助成金の新システムのマニュアルができました。各部門長さんには配布してあり、これに沿って予算書と登録、決算書と参加名簿を印刷して事務所から郵送して、認可が降りる事になります。資料の様な画面構成で、日臨技への登録の仕方が変わります。現在新システムについて問い合わせがありますが、今後徐々に慣れてくるのではないかと報告があった。

臨床生理の研修会で来ていただく先生が、HDMI の企画端子を持っているという事で、先生の方で HDMA のプロジェクターが無かったため、相談をしたところ、今回技師会で 2 台購入したパソコンに HDMI 端子がついているという事で、そちらを使ってもらおう対応をした。そのため 2 台分のケーブルを購入しました。間に合わないため事後報告であります。見積書と請求書で、19,114 円となり承認を求め承認された。

臼井部長より技師会のプロジェクターを持ってくるのかとの質問があった。近藤部長より持っていくとの回答があった。

種村さんの旦那さんにエイデンで調べてもらったら、見積の 3 点（HDMI ケーブル・RBG ケーブル・変換アダプター）を買わなければいけないとの事であった。

臼井部長と浅野副会長より、技師会のプロジェクターは HDMI 端子が付いていて、パソコンに HDMI が付いていれば、ケーブルさえあれば良いのではないかと意見が出た。臼井部長よりケーブルがありましたので、明日テスト行いそこで、回答が出るとの発言があった。

外部講師を招いての生物化学分析部門研修会の予算書となっています。平成 27 年 12 月 13 日（日） 9:30～15:30 まで行います。

実務委員に交通費と食卓費を支給していただき、外部講師 岐阜市民病院 中央検査部部长 内木隆文 先生に、講師料 50,000 円、交通費 0 円。

輸血細胞治療部門実技研修会が、平成 27 年 11 月 8 日（日）9:00～16:30 岐阜大学医学部附属病院 輸血部をお借りして、試験管法による凝集の目合わせ ABO・Rh 血液型判定 不規則性抗体スクリーニングおよび同定を 10 名程度で行う予定で、参加費は 4,000 円、参加者はメールにて登録をする。締め切りは、10 月 10 日を予定しています。

有料化にしたのは、試薬代に 105,000 円、消耗品が 10,000 円、日当交通費かかるためだそうです。当日キャンセルのための資金不足の防止のために、参加申し込みに岐

臨技の講座と領収書を使わせてもらいたいとの八木先生からのお願いがあった。

会長より参加費を 4,000 円にした根拠はと問いかけがあった。近藤部長より今月の 20 日に行われるため、既に案内がされていて、変更できないとの発言があった。

浅野副会長よりどうして 4,000 円なのか理由だけ確認しないといけないまた、今後継続的に行うかどうか、この参加費で行うかどうかの確認も必要との意見があった。

近藤部長よりいくらが妥当ですかとの問いかけがあった。会長より部門別の研修会は無料行くと謳っていますので無料でしょうとの意見が出たが、これだけお金がかかっているから取ったほうが良い意見もあった。

浅野副会長より、参加費を 4,000 円もらったとして、60,000 円ぐらいの赤字でこれが毎年行われたとしたら、技師会として問題が無いのかとの質問があった。

兼子会長より全体が黒字のうちが良いが、全体で赤字になるとまずいとの発言があった。

白井部長より何故 10 名にしたのかとの質問があった。浅野副会長より実技講習なため、教えられる範疇の人数が 10 名だと思ふとの意見が出た。

諏訪副会長より 10 名、4,000 円で行うのは、特殊なやり方との意見があった。

兼子会長より、マンツーマンで教えると、講師の日当交通費だけでかなりの金額になるとの意見があった。場所的にウォーターバスを使うので少人数でとの意見もあった。

白井部長より企画としては面白いとの意見が出た。

諏訪副会長より、目合わせをするのであれば、もっと多くの人で行って欲しいとの意見があった。

浅野副会長より外部的に見て、この研修会の趣旨がわからないため、今後の事もあるので確認が必要との意見があった。

兼子会長よりこれだけお金を使う時は、決算書を出してもらわないといけないとの意見があった。浅野副会長より他県はこのように行っているのですかねとの意見があった。

白井部長より、誰が教えるのかとの質問があった。近藤部長より、帖佐先生は、岐阜市の健康まつりで不在ですので、八木先生が教えるのかはっきりした事はわからないとの意見があった。

### 3. 精度管理事業部

多和田部長が欠席のため、近藤部長が代読をした。

日時は平成 27 年 8 月 30 日（日）9:30～15:00、場所は岐阜市民病院 中央検査室及び看護学校第 7 会議室で行いました。

試料梱包発送作業をし、今後の日程について確認をした。

不良品があった場合や、二次サーベいの資料は一括して岐阜市民病院から発送する。

二次サーベイを行う場合は 10 月 13 日までに平光技師に連絡する。

本年度も再入力期間を設けるが、再入力の前後の回答が分かるようにしておく。

資料を入れるプチプチ袋は、種村事務員の手製であるのでサイズや形などについては具体的に指示して作ってもらうとよい。

発送後のトラブルとして、臨床化学で試料漏れが3施設あり、再発送した。微生物では、設問記載の誤りがあった。

病理で申し込みをしたが、参加しない施設があった。

新企画として、一次報告書郵送時に、C・D項目について原因及び対策（是正処理）について各担当者へメールまたはFAXにて返信するよう要求する文面を加える事を、常務理事会で審議のお願いがあった。常務理事会で承認された。

#### 4. 組織調査部

臼井組織調査部長より報告があった。

無料HIVの依頼が県から来ました。秋季拡大研修会と重なってしまった。

臼井部長と山本さんが参加しますので、あと2名の実務委員がいればとの意見があった。

会長より秋季拡大研修会と重なっているし、前の週に市民健康まつりがありますし、無理を言えないとの発言があった。

13時から15時の2時間行ってくれる人を会長が探しますので少し待ってくださいとの発言があった。

検査前研修会が10月19日（月）にあります。誰か必ず出なければいけないので臼井部長が参加しますとの報告があった。

自然災害に関しては、各理事が把握しておいてほしいとの発言があった。

検査と健康展についての進捗状況の報告があった。

ポスターは、森本部長に作成してもらいました。それを持って西濃地区の高校を訪問したが、2期生のため中間テスト中で北、東、南、大垣日大の4校はダメと言われました。大垣西、大垣商業、不破校は大丈夫と言われましたが、不破校は大学にはほとんど行かないとの報告があった。

西濃地区の中学に案内文を出そうと思ひまして相談に行きましたら、大垣市の小中学校の校長会の許可が無ければ案内文を出せないという事で、そのためには、大垣市教育委員会の後援を取らないといけなく、現在校長会の会長とアポイントを取りましたので、たぶん大丈夫で、中学校に案内状を送る事が出来ますとの報告があった。また、岐阜医療科学大学の高崎先生に岐阜県のどこの高校から大学へ来ているのかをリサーチしてもらい、その高校には文章を送りますとの報告があった。

後援許可の方は、厚労相と、岐阜県病院協会、岐阜県看護協会、大垣市教育委員会でもらっています。

アクアウォークが開いている時に、来られる人に来ていただいて、スペースを見てい

ただき、配置を検討してもらうために、後日案内を出しますとの報告があった。

診療所の開設の申請が必要なんですけど、これは、健康相談をしたり、口腔内の常在細菌をみたり、骨密度、血管年齢を行うために必要ですので、現在保健所と話をしています。

アクアウォークの敷地面積などの細かい事がいりますので、明日アクアウォークへ行き書類に記入し提出する予定です。

収入印紙が 14,000 円必要との報告があった。また、日臨技へ提出する予算書を作成します。西濃地区で何人かお手伝いをしていただく予定ですが、理事の方で手伝ってくれる人はいないかと問い合わせがあった。

そろそろメンバーを正式に決めたいと思うので、次の理事会までに教えてもらいたいのでメールを理事に送りたいとの発言があった。

兼子会長、浅野副会長、近藤部長、松浦理事、関理事は、出席しますとの発言があった。

岐臨技の名刺の余っているのを使用してもよいかとの質問があり、会長より使って下さいとの発言があった。

浅野副会長より、岐臨技の名刺のテンプレートを作り、そこに名前を入れる様にすればとの意見があった。

会長より、名刺が必要であれば作ってもらえばよいとの発言があった。

臼井部長よりそろそろ理事の改選になりますので、各地区理事の方は、人選にあたってもらわないといけませんのでお願いします。また、部長はどうするのか、会長はこのまま続けてもらえるのかなど、煮詰めていかなければとの意見があった。

会長よりこれは役員推薦委員の仕事との発言があった。臼井理事より、役員推薦委員の仕事ではありますが、理事の方がバックアップしないと話が進まないとの意見があった。

諏訪副会長より、はじめに役員推薦委員が話を持ってきてもらわないと理事としては動けないので、各地区の役員推薦委員から理事へ話を持ちかけてほしいとの発言があった。

臼井部長より、11月に公示をし、立候補があるかを確認しないといけないとの発言があった。兼子会長より役員推薦委員にそろそろ次の理事をあたっという事を連絡して下さいとの意見があった。

## 5. 法人対応部

鈴木法人対応部長より報告があった。

6月の定時総会が終わりまして、その後の状況なんですけど、現在画面でも確認をしていますが、一度出して、修正の電話があり、言われたとおり修正をし、提出したのが7月30日で、それから何も連絡が無い状況との報告があった。

会長より連絡が無いのは、いいという事ですかとの質問があった。鈴木部長より、よければ完了になりますが、完了になってなく、順番に行っていくと時間がかかるとの報告があった。

現在行っている大腸癌部会と環境改善委員会を渉外部の下に付けてもらい来年の6月から始めたらどうかとの意見があった。

今後の法人の申請をどうして行くかの質問があった。鈴木部長より外に頼むのか、技師が2年ごとに申し送りをして行う事は、かなり難しいとの意見があり、放射線技師会では、外に頼んで行っているとの意見があった。

兼子会長より、会計でもそう言う話が出ていて、私が辞めたら、他の人では出来ないとの意見もあり、その時は、負担を減らすために、会計と法人申請を外に頼まないといけなくなるとの発言があった。

## 6. 会計部

柴会計部長がお休みのため兼子会長より報告があった。

9月に会計を締め、中間決算を行いますとの報告があった。

## 7. その他

兼子会長より報告があった。

日臨技臨床検査連盟執行委員会（宮島会長の選挙の話）から北村前会長の所に案内が来まして、誰か出席してもらえないかと北村さんからメールが来ました。

誰も行かないのであれば北村さんが行きますとの話があった。

出席にあたって、日技連からは、出張費が出ないため、技師会から交通費、日当、食卓費ぐらいは出さないといけないのかなとの会長より意見があり、常務理事の意見を求めた。日時は、10月3日（土）に開催します。

浅野副会長より、本来は執行委員が行かないといけないとの意見があった。

諏訪副会長より、連盟の話を技師会で話さなければならぬ事なのかとの質問があった。兼子会長より、宮島会長がどちらも兼ねていますのでとの説明があった。

諏訪副会長より今回は第2回ですが、第1回の際は誰か行っていますかとの質問があった。兼子会長より、第1回は行っていないとの回答があった。

常務理事メンバーに予定を聞いた所、兼子会長以外へ都合が悪く、北村さんが行けない時は、兼子会長が出席、もしくは欠席でもよい事とした。また、出張費は交通費のみとした。

諏訪副会長より、飛騨地区が10月4日に高山市健康センターで行う健康まつりの予算の承認を求められた。

交通費が500円×15名で7,500円、日当代が1,000円×15名で15,000円、弁当代が1,000円×15名で15,000円、お茶代が1,500円、レンタル料（フクダ電子）64,800円、

(日本光電) 21,600 円、業者さん弁当お茶代 2,200 円との報告があり、承認を求められた。兼子会長の所に来た資料では、17 名であった。

臼井部長より、レンタル料が西濃地区と違うので、現在技師会で借りるので、料金を統一する事で話を進めてきました。

ビーナスは、デモ機として扱っているの、料金は発生しないはずなのですが、日本光電にバラツキがあるとの意見があった。

浅野副会長より、今度から窓口を一つにしないといけないとの意見があった。

作業費は、日本光電さんとフクダ電子さんが来てくれて作業する事で、日当のようなものではないかとの意見があった。しかし、西濃地区では、作業費は無かったとの意見があった。


臼井部長より、フクダ電子と日本光電には、技師会で借りるときは、値段を統一して下さいと言ってありましたが、フクダ電子は周知徹底されているが、日本光電さんは、周知徹底されていないとの意見があった。

バセラは飛騨地区だけが使用して、本当の ABI で、一人 10 分ぐらいかかり検査するのが大変だという意見があった。また、結果説明が医療行為になってしまわないか不安があるとの意見があった。

諏訪副会長より、医療行為については検討していないとの発言があった。

血管年齢のダイナパルスは簡単に測定ができ、何台借りても同じ値段との報告があった。日本光電さんには、臼井部長よりもう一度話をしますとの意見があった。

今年はこのままでの予算で承認を求めたが、作業費が不明で保留となった。健康まつりに間に合うように、再度予算書を作り直し、会長に送り承認を得る事とした。

議長 兼子 徹 

議事録署名人 諏訪 浩 

議事録署名人 浅野 敦 